

神宮寺便



一週連続台風襲来で祭り開催が心配されましたが、無事に全ての日程を終えることが出来ました。ご参加・ご協力頂いた方に感謝申し上げます。これからも「お寺を身近に」を理念に精進して参りますので、末永くご愛顧くださいませ。

一四五九年

良啓

一四五九年は、神宮寺が建立された年ですが、どういった時代だったのでしょうか、今回は日本の歴史を調べてみました。

足利義政が將軍として室町幕府を治めていましたが、一四六七年に応仁の乱が起こり、京都は一面荒れ野原となった時代でした。その為、それまで絢爛豪華な文化が好まれていた勢いが無くなり、水墨画や茶道など「わびさび」を重んじる東山文化へとシフトしてきました。今日までつながる文化があるので列挙しておきます。

茶道：

村田珠光が侘茶を創始しました。それまでは、特権階級のたしなみでしたが、庶民が簡素な道具で行うお茶の道を提唱して、後の千利休に大きな影響を与えました。

華道：

池坊初代専慶が華道を確立させました。専慶は、京都六角堂の僧侶で仏様の供花を「生け花」としての華道へと昇華させました。

枯山水：

京都竜安寺は世界遺産に登録されている臨済宗の寺院です。その石庭は、石のみで大自然を表現し（枯山水）、見る角度によって違った表情を見せるとして、参拝者が絶えません。

また、とんちでお馴染みの一休さん（一休宗純禪師）が京都大徳寺の住職として活躍していました。

如何でしょうか？応仁の乱があり、一休さんがいて、竜安寺の石庭が作られた時期だったんですね！面白い調査でした。次は世界の人物や歴史も調べてみたいくなりました。

身近にある仏教語⑩

裕俊

私達が日常的に使っている言葉の中には、仏教に関係している言葉がたくさんあります。そんな言葉を由来と共にご紹介させていただきます。

うんたらかんたら

「うんたらかんたら」あやふやにしか覚えてない事柄を話したい時に聞いたり使ったりしたことはありませんか？

「なんちゃらかんちゃら」「なんたらかんたら」などの似た表現もすべて「うんたらかんたら」の派生で、実は密教由来の言葉なのです。法要などで僧侶がお唱えする不動明王様の「真言が、「のうまくさんまんだ ばざらだん せんだまかるしやだ そはたや うんたらたかんまん」というご真言なのですが、お参りの方には最後の「うんたらたかんまん」しか聞き取れなかった為、あやふやな事柄や名詞の最後に「うんたらかんたら」と付け足すようになったそうです。ご真言が難しい為に生まれた言葉があるというのは、とても面白いですね。

